

令和2年度

萩市消費生活モニター通信①



萩市 消費生活センター

萩市消費生活モニター通信① 目次

| | |
|---|-----|
| 個人間売買について | 1 |
| 架空請求について..... | 1 |
| 不用品活用銀行について..... | 2 |
| ごみの収集の仕方について | 2 |
| ごみ袋の無料配布について | 3 |
| 「がんばろう萩！子育てエール便」・「学生エール便」 について | 3 |
| 新型コロナウイルス感染症について..... | 4 |
| 携帯の電波について..... | 4 |
| 今後の食糧問題について | 5 |
| 研修会に参加して | 6～7 |

個人間売買について

近年、フリマアプリなどで、個人が必要な物、不要な物を売買する人が増えていると思います。私自身も、とても便利なのでよく利用しているのですが、消費者からあった連絡（困った事、クレーム）などがあれば教えてほしいです。



（消費生活センター）

萩市で受けた相談事例

- ① ブランドの「新品未使用」のマフラーを3,000円で購入したが、届いたマフラーにはたくさんの毛玉やネコの毛がついていたので、返品を依頼したが断られた。
- ② 「キズなし、未使用新品」と書かれたアイドルグッズを6,500円で購入したが、新品ではなく使用した形跡があるので、返品依頼したが断られた。

消費生活センターは、個人である消費者と事業者間との相談を受ける機関で、フリマサービスのような個人同士の取引には介入できません。トラブルは原則として当事者間で解決することが求められます。トラブルに遭わないためには、取引の流を確認し、ルールを必ず守りましょう。ただし、フリマアプリの対応に納得できない場合は、センターに相談してください。

架空請求について

先日、友人と話をしていたら、某会社名で「注文の品を届けに行ったけど不在でした」との内容のメールが入ったとのことでした。

私も、過日同様のメールが入りましたが、当日はずっと在宅だったにもかかわらず不在とは…。

全く心当たりもなかったのですが、すぐ消去、友人も同様の対応をしました。もし、返信したら、どんなことになるのでしょうか？

（消費生活センター）

「不在通知」を装った偽SMSにアクセスすると、知らぬ間に情報を流出させるような不審なアプリがダウンロードされます。そのアプリを偽サイトに記載された手順でインストールすると、詐欺に使われたり、キャリア決済が不正使用されるなどの被害に遭うことがあります。覚えのないSMSはすぐ削除して、決して相手に連絡をとらないよう無視してください。



不用品活用銀行について

昨年、市役所内にある不用品活用銀行の掲示で、個人の不要な物などを譲っていただけると知り、子どものおもちゃをいただきました。

この不用品活用銀行の「おゆずりします・おゆずりください」の情報は、市役所の掲示板以外で知ることはできますか？

(環境衛生課)

不用品活用銀行をご活用ありがとうございます。

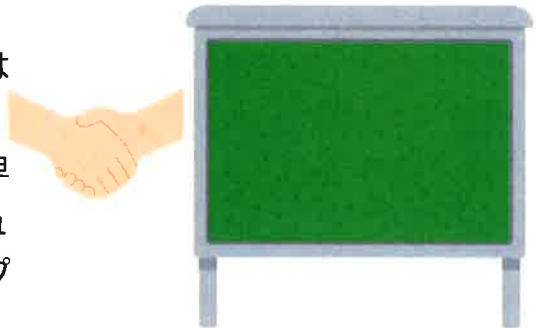
この不用品活用銀行の情報は、①萩市役所 1 階に設置している掲示板

②エコプラザ・萩に設置している掲示板

③広報はぎエコプラザ・萩情報

の3ヶ所で掲載しています。

登録期間は、3ヶ月ですが、登録日によっては広報はぎの掲載が2ヶ月のみの場合があります。そのため、掲示板を見ていただいた方が情報も早いと思います。エコプラザ・萩は、4月にリニューアルしていますので、ぜひ掲示板を見にエコプラザ・萩にもお寄りください。



不用品活用銀行が、市民の皆さんのお役に立てれば幸いです。

ごみの収集の仕方について

ごみの収集日の前日に、びんや缶、割れたびん等が1つの袋に入っていて「誰の？」と思っていました。後日、他市から帰られた子どもさんが、片付けをしてごみを出されたということでした。

市によって収集の仕方が異なっているようで、全国一律にならないのでしょうか？

(環境衛生課)

ごみの分別は、法律で市町村が決めることと定められており、一般廃棄物処分場やごみ焼却場の規模などの関係で全国一律が難しいと考えます。



萩市のごみ分別についても、市民の皆さんが分別で迷うことのないよう啓発に取り組んで参ります。

分別についてわからないことがありましたら、環境衛生課へお問い合わせください。

ごみ袋の無料配布について

我が家は5人家族で、子育て世帯でもあるので、ごみ袋の無料配布はとても有難く活用させていただいています。

そのごみ袋の配布時の手伝いをしたことがある方から聞いた話です。各世帯で配布の枚数が違うため、配布資料があるそうです。しかし、その資料と実際の世帯員数やそもそもの居住の有無が、転居や高齢者の施設入所等により異なる世帯がいくつかあって、配布の際とても苦労されたようです。

今後も無料配布は継続していただきたいので、各世帯の状況を今一度、確認、把握していただけたらお手伝いされる方の負担軽減、ごみ袋無料配布の経費削減にもつながるのではないのでしょうか。

(環境衛生課)

ご意見いただきありがとうございました。

無料配布の対象は、住民基本台帳に登録されている市民の方です。配布資料は、毎年見直し作成しておりますが、住民異動届を出さずに施設に入所されたり、転居されてしまう方もおり、実態と異なることもあります。

ごみ袋の配布については、実態と異なる世帯についても、配布資料の記載どおりに配布していただき、空き家や入院中などごみ袋を渡すことができない場合については、ごみ袋は配布せず市へ返却していただきますようお願いいたします。配布していただいている方へは、大変ご苦労をおかけしますが、今後ともどうぞご協力をお願いいたします。



「がんばろう萩！子育てエール便」・「学生エール便」について

新型コロナウイルス感染症の影響により、家計の急変やアルバイト収入の減少で厳しい生活を強いられている子育て世帯に対しての支援として「がんばろう萩！子育てエール便」「学生エール便」と題して、萩市共通商品券や萩製品の詰め合わせを届けていただけるというお知らせを最初にSNSで知りました。

我が家は、高校生以下の子ども2人と大学生が1人おり、両エール便とも支給条件に該当するので、申し込みが必要な分については、インターネットから申請をさせていただきました。こういう手続きが苦手な私も簡単に申請することができ、両方のエール便が日をそう待たずに郵送で届きました。

いろいろな対応に追われ、ご多忙であろう市の職員の方々の迅速な行動に頭が下がりがつつ、ありがたい思いで心から感謝しています。



新型コロナウイルス感染症について

持病があり、マスクは多少備蓄していましたが、新型コロナウイルス感染症のせいで、マスクがこんなに無くなるとは思ってもみませんでした。

トイレットペーパーも、棚から姿を消しました。24時間営業の店で、テレビで他県のトイレットペーパーが売り切れという放送後に、お客様が夜中まで来られて買い占めて帰られていたそうです。テレビのニュースなどに流されず、落ち着いて行動してもらいたいと思います。

自粛生活が続いて、萩に感染者は出ていないですが、週に数回行っていた買物も週1回になり、服などはネットで購入するようになりました。

自粛で子供さんたちが家にいるようになったので、即席めん、パスタ、ホットケーキミックスが品切れだなあと軽く考えていたら、ドライイーストも品切れでびっくりしました。

次は、何が品切れになるのかネットニュースを見て、アンテナを立てておかないと手に入らなくなりますね。

新型コロナウイルス感染症により、生活が変わってしまいました。



携帯の電波について

近所で困っていることは、携帯の電波の入りが悪いことです。友人や身内の者からも、電話が通じないことがしばしばあります。家の中にいると、ほぼ無理です。だんだん年を重ねていくので、いざ緊急事態が発生しても連絡がつかないと思うと先々がとても不安です。

(情報政策課)

市では、地理的条件や事業採算上の問題などから、無線通信事業者の参入がなく、携帯電話等が利用できない地域を対象として、無線通信事業者からの協力を得ることで、国の携帯電話等エリア整備事業に取り組み、携帯電話等の基地局施設（鉄塔、無線設備等）を整備することで、不感地域の解消を図っているところです。

既にいずれかの無線通信事業者のサービスエリアに含まれている場合、携帯電話等エリア整備事業の対象とはなりません。

家の中の電波が不安定で、通話ができなくて困るということであれば、まずは無線通信事業者にご相談されることをおすすめします。無線通信事業者ごとに決められた条件を満たせば、電波状況を改善する機器のレンタルが可能となる場合があります。

それでも改善がみられない場合は、無線通信事業者を変更することにより改善する場合がありますので、検討されてみてはいかがでしょうか。



今後の食糧問題について

新型コロナウイルス感染症による世界での農作物の作付け減少、サバクトビバッタの大量発生、自然災害などにより、今後世界各地で食糧難が予想されています。

日本の食料自給率は37%となっており、諸外国からの輸入がストップしてしまった場合、萩市では備蓄などに取り組みおられるのか心配しています。

特に、お味噌や醤油、納豆、豆腐など日本食に欠かせない大豆の自給率はわずか7%です。萩市は、山あり海あり、地産地消にも取り組まれています。今後は更に強い農業、人々の生命を守るネットワーク作り、備蓄にも力を入れていく必要性を感じています。

また、地震や洪水などにより、大変な思いをされている方々がおられます。被災されて困難な状況にある地域に、進んで食糧をお届け出来る余力が持てることが望ましいと思います。



(農政課)

市において最も被害が大きいと想定される萩北断層を震源とする地震が発生した場合に必要な食料156,000食分の備蓄を2017年度(H29年度)から5ヶ年かけて整備することとしています。備蓄方法は購入し倉庫で保管する方法と、販売店と協定を結び有事の際には優先的に食料を提供(有償)していただく流通備蓄があります。この流通備蓄に関しましては市内事業者のご協力の下、43,000食分の提供(有償)が見込まれており、残りの113,000食分を5ヶ年で備蓄することとなります。現在購入し備蓄している食料は68,580食となります。

国でも「災害に対する家庭での備え」として、食料・飲料の備蓄を奨めています。

近年多発する大規模災害の場合、物流の復旧や行政支援体制が整うまで、約1週間分の水・食料が必要だと言われています。具体的な対応策として、日常で使う食料や加工品をいつもより少し多めに購入し、使用した分を買い足すことを繰り返し行い、一定量を備蓄しておく「ローリングストック」が推奨されています。

一方、食糧難への備えについてですが、備蓄には広大な施設と多額の維持費用がかかるため、地方自治体での取組は非常に困難な状況にあります。

国では、国内の生産量の減少や海外における不測の事態の発生による供給途絶等に備えるため、米や小麦などの備蓄を行っています。不測の事態には、備蓄の放出等により、供給の維持が図られることになっています。

わが国は、食料の多くを海外に依存している状況で、食料自給率は長期的に減少傾向で推移しており、先進国中最低水準となっています。

食料の安定的な供給については、国内の農業生産の増大を図ることが重要となります。

一般的に国産農作物は輸入農作物と比べ価格が高くなりますが、食料の安定的な供給を実現するためにも、国産品の積極的購入、地産・地消による地域農業の応援にご協力をお願いいたします。

研修会に参加して

先日、消費生活相談員により、「悪質商法、振り込め詐欺等の手口、最近の消費生活の相談事例」の研修を受けました。

今年、初めて消費生活モニターを拝命しましたが、正直なところ春先からのコロナ禍も重なり、活動自体が出来なかったこと、知識のなさに反省するだけの報告となりました。

まずは、先日受講した内容を十分理解し、新たな詐欺等から地域の方々をお守りするために、具体的に少し活動をゆっくり開始したいと考えているところです。手段、方法については、消費生活センターに力と知恵を借りたいと考えていますので、よろしくお願いします。

地域の方々の前で、少しお話が出来るよう準備していきたいと考えています。

コロナ禍に関連した事例は、急激に増えそうな気がします。

(消費生活センター)

コロナ禍に関する相談事例としては

- ① コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、勤務先の職場が倒産したことで収入が途絶えてしまい、自動車のローンが支払えなくなった。
- ② 家にいる時間が増えたことで、電話勧誘を受けることが増えた。どうにかならないか？
- ③ 注文していないマスクが送りつけられた。少し割高だったが、必要なので購入することにした。
- ④ ネットで注文したマスクがまだ届かない。振込みは既にしている。
- ⑤ 中国製のマスクの品質は安全か？

上記、萩市消費生活センターで実際に受けた事案です。

今後も皆様の周辺で、「なんだか変だな？」と思われる事案等があれば、お気軽にセンターにご相談ください。

研修会に参加して

悪質商法や振り込め詐欺等の手口、契約や解除のトラブルの話を聞いて、クーリングオフが出来ることと出来ないことを聞き勉強になりました。知らなかったことなので、返品制度があったり大きい買物はこわいなあと思いました。

ショップ販売や今はネットの時代なので、すぐ押せば買えてしまいますがこわい部分もあります。この商品が返品できるのか聞くのもネットで、顔も見えないので不安です。ネットのいい部分はすぐに商品が来ることですが、あわなかった時には対処に困るので不安になります。

研修会は勉強になりました。ありがとうございました。

研修会に参加して

この度の研修で、エシカル消費という言葉を知りました。家に帰りエシカル消費について少し調べてみました。エシカル消費は、「人と社会、地球環境、地域のことを考慮して作られたモノ」を「購入する・消費する」こと。私達一人一人の消費者が「お金を払うことを通じて、社会問題の解決に貢献しよう！」と考えて消費すれば、私達の日常が「エシカルそのもの」になるとありました。

環境に配慮された消費、人、社会に配慮された消費、地域に配慮された消費を心がけて、少しずつでも実行していきたいと思います。

また、地域の方々にも広めていきたいと思います。

研修会に参加して

1年を振り返り勉強する機会が、知らなかったこと、気づかなかったたくさんのお話を学ばせていただきました。

出前講座のことも、声をかけたのですが、私の力不足で「何にもない」との返答でした。

これからも研修会に参加し、一人でも多くの方に勉強会の内容を報告させていただきます。よろしくお願いします。

令和2年度萩市消費生活モニター

馬場 麻希（椿東）
田村 弘美（三見）
福部 俊英（三見）
松尾 幸恵（大井）
高橋 美晴（川上）
原川 郁子（下田万）
高橋 知子（吉部下）
藤山 直美（須佐）
上島 華代（佐々並）
柴田 眞弓（福井下）

萩市消費生活センター

0838-25-0999

訪問販売、架空請求、クーリング・オフなどの契約・
解約に関する問題や、多重債務、商品の安全性・品質
など消費生活全般の相談に応じます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

